

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲	事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績		令和3年度事業実績		自己評価	事業実施担当課
1	1	1			小・中学生向け男女平等副読本の作成・活用	小中学生向けの副読本を配付し活用を促すことにより、年少期からの男女平等教育を推進する。また、教職員を対象に研修を実施し、男女平等教育に対する認識を高める。	小中学生向け男女平等教育副読本の活用率の向上 小学校 100% 中学校 100%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引き」を作成し、イントラネットに電子版を公開。 小学校:「はらっぱ」、同「指導の手引き」 ・小学校3、4年生対象(3年時に配付) ・部数 16,000部 ・活用率 95.8% 中学校:「わたしらしく生きる」、同「指導の手引き」 ・中学校全学年対象(1年時に配布) ・部数 14,700部 ・活用率 88.4%	男女平等教育の副読本を作成し、市内の小・中学生に配付、教師用に「指導の手引き」を作成し、令和4年度版より配付をとりやめイントラネットに電子版を公開。 小学校:「はらっぱ」、同「指導の手引き」 ・小学校3、4年生対象(3年時に配付) ・部数 16,500部 ・活用率 91.0% 中学校:「わたしらしく生きる」、同「指導の手引き」 ・中学校全学年対象(1年時に配布) ・部数 14,500部 ・活用率 73.9%	A	市民)男女共同参画課 教委)小学校教育課・中学校教育課		
1	1	1			中学生向け出前セミナー	子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう男女平等教育を推進する。	令和4年度から6年度の3年間で市立の69校でセミナーを実施する。受講した生徒の理解度100%	中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校26校 <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野の説明・体験等 <理解度> 生徒91.7%、教師86.6%	中学校へ講師を派遣し、男女共同参画の必要性や将来のキャリア形成への意識を高める出前セミナーを実施。 <実施校> 市立中学校30校 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施予定校31校のうち1校で未実施。(令和4年度実施) <セミナーの内容> ・男女共同参画の必要性について ・性別にとらわれず将来のキャリアデザインを描くことの大切さについて ・ロールモデルの紹介 ・専門分野の説明・体験等 <理解度> 生徒92.7%、教師73.2%	B	市民)男女共同参画課		
1	1	1			男女平等の理念に立った教育課程の編成	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	男女平等の理念に立って教育課程を編成し、教科等の特質や児童生徒の発達段階に応じた男女平等教育を行う。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。	各学校において、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動等の特質や児童生徒の発達段階に応じて作成する教育指導計画に男女平等教育の視点を適切に位置付けている。	B	教委)小学校教育課・中学校教育課		
1	1	1			職場体験学習	中学校段階において性別にかかわらず、教育活動全体を通して、キャリア教育を推進する。	・中学校における職場体験学習100%実施の継続。 ・生徒のニーズに合う受け入れ事業所の充実。	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止。	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止。	一	教委)学校企画課		
1	1	1			家庭科教育の充実	男女が共に家族の一員として役割を果たし、家庭を築いていくことの重要性を認識し、生活に必要な知識・技能を習得させるため、家庭科教育の充実を図る。	題材目標を明確化した学習の実施100%	【小学校5・6年生】 ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し、工夫することを学ばせた。 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 【中学生】 ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法をすることを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。	【小学校5・6年生】 ○男女ともに、家族の一員として役割を果たすために、家庭生活を支える仕事の理解と仕事を分担し、工夫することを学ばせた。 ○生活に必要な基礎的な知識と技能を身に付けさせた。 【中学生】 ○家族を構成する男女が、家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法をすることを学ばせた。 ○生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を習得させた。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学習内容を縮小している。	B	教委)小学校教育課・中学校教育課		
1	1	1			育児の体験学習等	幼児に関わる体験を通して、幼児にふさわしい生活を整えるための家族の役割の理解を深める。	中学校69校にて体験活動が実施される。	【中学生】 技術・家庭科(家庭分野) ○幼児の心身の発達の特徴と、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について学ばせた。 ○幼児と触れ合う体験活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和4年度は中止した。	【中学生】 技術・家庭科(家庭分野) ○幼児の心身の発達の特徴と、幼児にふさわしい生活を整える家族の役割について学ばせた。 ○幼児と触れ合う体験活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度は中止した。	一	教委)中学校教育課		

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲	事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
1	1	1			学校生活全体にわたっての見直し	学級運営やクラスの係活動における役割分担の見直しなど、学校生活全般に男女平等の視点を取り入れる。	男女平等教育副読本活用率の向上	学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。 ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ・男女平等教育副読本活用率 小学校:95.8% 中学校:88.4%	学校生活全体にわたって以下の点について見直しを行った。 ○各教科や道徳の時間をはじめ、あらゆる教育活動を通して男女の相互理解や相互尊重といった望ましい人間関係の育成 ○学級での係分担や委員会活動、児童会・生徒会の役割分担見直し ○男女平等教育副読本および指導の手引を活用した研修の実施 ○教職員の固定的性別役割分担意識の解消のための研修の実施 ・男女平等教育副読本活用率 小学校:91.0% 中学校:73.9%	A	教委) 中学校教育課
1	1	1			学生向け啓発セミナー	学生を中心に男女共同参画意識を推進する。	学生を中心に男女共同参画意識の浸透を図る。満足度90%以上を目指す。	「写真とことば」ジェンダーデザイン・コンテスト ・作品応募160点 満足度:100%	「写真とことば」ジェンダーデザイン・コンテスト ・作品応募105点 満足度:100%	A	市民) 事業推進課
1	1	2			男女平等教育研修会	教職員を対象に研修を実施し、男女平等教育に対する認識を高める。	教職員の男女平等教育研修会の「理解が深まった」と回答した人の割合100%	※オンライン実施 1 実践発表 ・福岡市立城南中学校 中学校家庭科における男女平等教育の取組 ～「わたしらしく生きる」の活用例～ 2 講演 ・講師 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院 准教授 治部れんげ氏 演題 「教育現場におけるジェンダー平等の推進」 ・受講者数223人 ・理解が深まったと回答した人の割合98.2%	※オンライン実施 1 実践発表 ・福岡市立原北小学校 「はらっぱ」を活用した授業実践 2 講演 ・講師 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 森永 康子氏 演題 「ジェンダー格差を生む心のしくみ」 ・受講者数225人 ・理解が深まったと回答した人の割合94%	A	教委) 人材育成課 市民) 男女共同参画課
1	1	2			新任教頭研修	男女共同参画社会の実現と教頭の役割を自覚し、教頭としての資質能力の向上を図る。	学校運営を充実させるために、今日的な教育課題への対応及び学校と地域のつながりについて幅広い知見を得るとともに、市行政人としての自覚向上を図る。	オンデマンド型研修 「男女平等教育の充実に向けて」 (市民局男女共同参画課作成動画) ・受講後アンケート 十分理解できた 49% 理解できた 51%	令和3年6月23日(水) テーマ 「男女平等教育の充実に向けて」 講師:市民局男女共同参画課 課長 田村 真紀子 氏	A	教委) 人材育成課
1	1	2			保育所職員等研修	保育所職員への研修による、男女平等教育の推進。	男女平等意識が浸透した社会を目指す。参加者アンケート「研修が参考になった」割合が90%以上。	研修実施(令和4年7月8日実施) 対象:公立保育所所長、副所長 内容:「家庭・地域・職場で考える男女共同参画について」 講師:福岡市市民局男女共同参画部 男女共同参画課 課長 田村 真紀子 氏 参加者:9人 参加者のアンケート:「研修が非常に参考になった」「参考になった」との回答 88.9%	研修実施(令和4年1月14日実施) 対象:家庭支援推進保育士・人権保育推進保育士・民同協加盟園、地域型保育事業所の保育士等 内容:「家庭・地域・職場で考える男女共同参画について」 講師:福岡市市民局男女共同参画部 男女共同参画課 課長 田村 真紀子 氏 参加者:84人 参加者のアンケート:「研修が参考になった」との回答 93.8%	B	こ未) 指導監査課
1	1	2		1 1	公民館長・公民館主事研修	公民館職員への研修による男女共同参画の推進	新任公民館職員研修及び7区の公民館運営研修等において男女共同参画に係る研修を実施	新任公民館職員研修実績 1回 34人 公民館運営研修実績 2回 66人(中央区)	新任公民館職員研修実績 1回 33人 公民館運営研修実績 1回 51人(東区)	B	市民) 公民館支援課
1	2	3	○		男女共同参画基礎講座	地域等における男女共同参画を推進する。	地域における男女共同参画の浸透を図る。	男女共同参画基礎講座 オンデマンド配信(YouTube) ・第1部「男女共同参画に関する基礎的な知識を学ぶ研修」 第2部「地域を変える、未来を変える ～新しい男女共同参画のスタイル～」 ・再生回数 631回(第1部と第2部の合計) 配信期間:令和4年6月23日～9月30日	男女共同参画基礎講座 オンデマンド配信(YouTube) ・第1部「男女共同参画に関する基礎的な知識を学ぶ研修」 第2部「新しい地域活動のスタイルを考えよう ～withコロナ～」 ・再生回数1,200回(第1部と第2部の合計) 配信期間:令和3年6月22日～令和4年3月31日	A	市民) 事業推進課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲		事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課	
1	2	3	○			男女共同参画講座(アミカスフェスタ)	センターにおいて男女共同参画を推進する。	センター及び参画ウィークの認知度向上を図る。満足度90%以上を目指す。	アミカスフェスタ 11月3日(祝)・6(日) (11/3～9日の福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」に実施) ・「写真とことば」ジェンダーデザイン・コンテスト(再掲) 作品応募160点 ・映画『今日も明日も負け犬。』上映会&トークショー 定員:228人 参加者:168人(女性144人、男性24人) 満足度:90% ・ジェンダー展 11/3～11/15アミカスギャラリーに展示	アミカスフェスタ 11月3日(祝)・6(土)・7(日) (11/3～9日の福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」に実施) ・「写真とことば」ジェンダーデザイン・コンテスト(再掲) 作品応募105点 ・映画上映会 ①「そして父になる」②「マダム・イン・ニューヨーク」 ①②合計 定員:80人 参加者:66人(女性53人、男性13人) 満足度:100% ・ことばとジェンダー展 11/3～11/15アミカスギャラリーに展示 ・エンパワーメント講座(再掲) 定員:35人 参加者:24人 満足度:100%	B	市民)事業推進課	
1	2	3	○			男女共同参画講座(アミカスフェスタ)	センターにおいて男女共同参画を推進する。	講座の満足度100%	・親子で作ろう!ダンボール工作教室 講師:森島 孝氏(NPO法人ファザーリング・ジャパン九州 共同代表理事) 定員:10組 参加者:8組 満足度:100% 計21人(女性9人、男性12人) ※保護者8人(女性3人、男性5人) ・楽しく学ぶ 親子防災教室 講師:福岡市消防局防災センター 定員:10組 参加者:3組 満足度:100% 計8人(女性4人、男性4人) ※保護者3人(女性1人、男性2人)	・パパママのための防災講座 定員:15人 参加者:14人 満足度100% ・みんなにやさしい防災展示 来館者約60人	A	市民)男女共同参画課	
1	2	3	○			男女共同参画講座(アミカスフェスタ)	センターにおいて男女共同参画を推進する。	センターの認知度向上 講座の満足度100%	・アミカス×スタカフェ 女性のための起業出張相談 定員:6人 参加者:6人 満足度:100% ・女性作家によるアート展 絵画や小物などの展示・販売	・アミカス×スタカフェ 女性のための起業相談会 定員:6人 参加者:7人 満足度:100% ・ファーマーズマルシェwith小呂島 (福岡市女性未来農業サポーター等) ロビーにて農産物等販売 ・ジェンダーイラスト展 2階エレベーターホールに展示	A	市民)女性活躍推進課	
1	2	3	○	1	2	8	市民グループ活動支援事業	市民グループの活動を支援することにより、広く男女共同参画の認識を深め、男女共同参画社会の実現を促進する。	30企画を支援する。	実施企画:19企画 ・参加者:832人 ・報告書:400部発行	実施企画:19企画 ・参加者:844人 ・報告書:400部発行	B	市民)事業推進課
1	2	3	○	1	3	10	アミカス地域支援事業	地域における男女共同参画を推進する。	地域における男女共同参画の浸透を図る。満足度90%以上を目指す。	・男女協応援事業 25件 401人受講 満足度 94% ・福岡市男女共同参画推進サポーター派遣事業 5件 128人受講 満足度 83% ・男女共同参画つうしん アミカスホームページに10件掲載	・男女協応援事業 11件 217人受講 満足度 93% ・福岡市男女共同参画推進サポーター派遣事業 1件 22人受講 満足度 83% ・男女共同参画つうしん アミカスホームページに10件掲載	A	市民)事業推進課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
1	2	3	○	2 2 2 4	1 2 5 1	14 22 30 45	アミカス相談室における相談	日常生活の中で直面する様々な問題について相談員などが相談を受け、問題解決に向けて援助する。	相談者のニーズに適切に対応する。	(1)相談業務 ①総合相談(電話・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①DV被害者のためのグループワーク 年2講座12回 参加者 延べ20人 ②DV講座 2回 参加者10人 ③自主グループ支援 15回 延べ38人 ④アサーティブネス講座 1回 参加者12人 (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回 ②事例検討・研修会 年5回 (事業実績)○相談件数 4,068件 うち、DV相談 557件	(1)相談業務 ①総合相談(電話・面接) ②アミカスDV相談ダイヤル ③法律相談 ④男性のための相談ホットライン (2)講座などによる啓発活動 ①DV被害者のためのグループワーク 年2講座12回 参加者 延べ14人 ②DV講座 1回 参加者8人 ③自主グループ支援 9回 延べ20人 ④アサーティブネス講座 1回 参加者13人 (3)相談員の会議・研修 ①DV相談窓口の相談員連絡会議 1回 ②事例検討・研修会 年5回 (事業実績)○相談件数 3,543件 うち、DV相談 582件	A	市民)事業推進課
1	2	4	○	1 3	3 1	10 37	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	男女共同参画推進活動が校区全体の取組みとして行われ、意思決定過程に男女が共に参画し、男女共同参画の視点に立った地域の自治が行なわれること	事業成果指標 ①「みんなで参画ウィーク」の取組みを行った校区数 ■目標値 30校区 ②東区における地域諸団体等の女性の就任率 ■目標値 前年度実績以上	1 意識啓発・人材育成 ①地域リーダー育成研修会 開催日:令和5年2月6日 参加者:61人 内容:「無意識の思い込み、アンコンシャスバイアスについて」 講師 倉富 史枝 ②日本女性会議への東区男女共同参画連絡協議会委員の参加:2人 開催日 令和4年10月28日、29日 場所 鳥取県倉吉市 ③広報誌(あい)発行による啓発活動 ④男女共同参画講演会「東区のつどい」 開催日 令和4年10月23日 参加者 172人 内容「アフガンに命の水を」 講師 藤田 千代子 ⑤その他 生涯学習推進課所管の「男女共同参画社会づくり講座」に東区男女共同参画連絡協議会が協力 開催日 令和4年9月16日 内容 ちひろ人権コンサート 2 事業成果指標実績 ①「みんなで参画ウィーク」に取組を行った校区数:調査中 ②東区における地域諸団体等の女性の就任率:19.8%	1 意識啓発・人材育成 ①地域リーダー育成研修会 開催日:令和4年3月7日 参加者:46人 内 容:「SDGsとジェンダー平等について」 講師 丹生 秀子 ②日本女性会議への東区男女共同参画連絡協議会委員の参加:3人(オンライン) 開催日 令和3年10月22日、23日 ③広報誌(あい)発行による啓発活動 ④男女共同参画講演会「東区のつどい」 開催日 令和4年1月15日 参加者 117人 内容「今、私たちの出番！ ～伝えていこう、自分らしく生きるという事～」 講師 熊丸 みつ子氏 ⑤その他 生涯学習推進課所管の「男女共同参画社会づくり講座」に東区男女共同参画連絡協議会が協力 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 2 事業成果指標実績 ①「みんなで参画ウィーク」に取組を行った校区数:28校区 ②東区における地域諸団体等の女性の就任率:18.9%	A	東)生涯学習推進課
1	2	4	○	1 3	3 1	10 37	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	校区が主体となった男女共同参画の推進	地域における男女共同参画の意識を図るとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	区内22校区(地区)中、男女共同参画に関する事業を実施した校区は21校区であった。	区内22校区(地区)中、男女共同参画に関する事業を実施した校区は21校区(地区)であった。	B	博多)企画振興課
1	2	4	○	1 3	3 1	10 37	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	校区における男女共同参画の推進	校区状況に即した支援を行うため校区状況の把握に努めるとともに、世情に合った情報発信を行う。	情報提供のため、男女共同参画に関する資料等を配布。区内14校区中、13校区が男女共同参画に関する研修や取組みを実施。	情報提供のため、男女共同参画に関する資料等を配布。区内14校区中、12校区が男女共同参画に関する研修や取組みを実施。	B	中央)企画振興課
1	2	4	○	1 3	3 1	10 37	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	校区主体で男女共同参画を推進していく	区は連絡会の事務局として支援を行うとともに、地域サポート講座等の区主催事業を実施し、校区における男女共同参画推進活動の充実を目指す。	地域サポート講座 51人参加 2月に開催し、校区の男女協委員だけでなく、自治協役員の参加もあった。	地域サポート講座 47人参加 2月に開催し、校区の男女協委員だけでなく、自治協役員の参加もあった。	B	南)企画振興課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
				1	3	10							
1	2	4	○	1	3	10	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	校区における男女共同参画の推進	・意識啓発、人材育成に関する事業を開催し、校区における男女共同参画推進活動の充実を図る。	1 意識啓発・人材育成 (1) 推進研修 テーマ:「男女共同参画を推進する事業の作り方を学び、今後の地域での事業実施に活かしてもらおう。」 講師: 富永 桂子氏(NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会 理事長) 対象: 各校区男女共委員 参加者数: 29人 (2) 日本女性会議への参加および参加報告会 報告会参加者数: 20人 (3) 講演会 テーマ:「男女共同参画の視点からの防災・復興について ~九州北部豪雨後のわたしたちの取り組みから~」 講師: 星野 洋子氏(特定非営利活動法人 住みよいあさくらをめぐす風おこしの会 理事長) 対象: 各校区男女共委員、自治協関係者、自治会・町内会長等 参加者数: 35人	1 意識啓発・人材育成 (1) 推進研修 テーマ:「地域における男女共同参画について」 講師: 野依 智子氏(公立学校法人 福岡女子大学 国際文理学部教授) 対象: 各校区男女共委員、自治協関係者、自治会・町内会長等 参加者数: 50人(うちオンライン参加10人) (2) 日本女性会議への派遣【オンライン開催のため派遣中止】 派遣者数: 0人 ※オンラインで各自視聴 (3) 講演会 テーマ:「性のモノサシから考える男女共同参画社会」 講師: 藤田 哲章氏(NPO法人 LGBTの家族と友人をつなぐ会 副理事長) 対象: 各校区男女共委員、自治協関係者、自治会・町内会長等 参加者数: 39人(うちオンライン参加32人) (4) 委員研修 テーマ:「福岡市立劇場博多座を観てみよう」 講師: 博多座副支配人 対象: 各校区男女共委員 参加者数: 18人	B	城南) 企画振興課
1	2	4	○	1	3	10	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	校区男女共同参画推進活動の活性化	コロナ禍においても、区内24校区中12校区以上の校区で男女共同参画に関する事業を実施できるよう支援する。	区内24校区中、男女共同参画に関する事業を実施した校区は23校区であった。	区内24校区中、男女共同参画に関する事業を実施した校区は10校区であった。	A	早良) 地域支援課
1	2	4	○	1	3	10	校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援	男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを推進すること	意識啓発や知識習得のための取り組みを行うとともに、校区間で情報交換を行える機会を提供し、委員同士のネットワークづくりと地域での活動を支援することで、地域全体の男女共同参画の意識向上を図る	各校区へ男女共同参画推進事業に関する情報共有を行っており、西区男女共同参画をすすめる会が発行している広報誌「なぎさ」も全校区に配布している。	男女共同参画推進活動の支援を行うため、啓発物資を配布した。 西区男女共同参画をすすめる会で作製。 ・広報誌「なぎさ」 ・啓発用マスク ・クリアファイル	B	西) 企画振興課
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	男女共同参画推進活動が校区全体の取組みとして行われ、意思決定過程に男女が共に参画し、男女共同参画の視点に立った地域の自治が行なわれること	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実現できるよう支援する	「東区男女共同参画連絡協議会」の活動支援定例会の開催支援(情報提供、資料作成、連絡調整等) 毎月開催 委員29人	「東区男女共同参画連絡協議会」の活動支援定例会の開催支援(情報提供、資料作成、連絡調整等) 毎月開催(うち4回新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 委員29人	A	東) 生涯学習推進課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
				1	3	10							
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	校区が主体となった男女共同参画の推進	地域における男女共同参画の意識を高めるとともに、女性リーダーの育成と活躍を支援し男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指す。	① 役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 年8回(うち役員会5回、全体会3回) ② 男女共同参画講演会(研修会) 参加者34人(男性:3名、女性:31名) ③ 日本女性会議への参加 現地開催のみであったため新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み不参加 ④ 区男女共同参画代表者会と自治協議会との意見交換会 第5ブロック(月限・席田・東月限校区)にて実施。 参加者25名(男性:10名、女性:15名) ⑤ 他都市視察研修 参加者17名(男性:1名、女性:16名) ⑥ 各校区の情報共有 校区の広報紙(年間事業報告など)を一つにまとめて綴り、各校区にて保有。	① 役員会及び定例会 各事業の協議及び報告と校区活動の情報交換等 年10回(うち役員会7回、全体会3回(第1回・第2回は書面開催にて実施)) ② 男女共同参画講演会(研修会) 参加者0人 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) ③ 日本女性会議への参加 参加者6人(オンライン開催) ④ 区男女共同参画代表者会と自治協議会との意見交換会 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) ⑤ 視察研修参加者 0人 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) ⑥ 各校区の情報共有 校区の広報紙(年間事業報告など)を一つにまとめて綴り、各校区にて保有。 ⑦ 区事業への協力参加 博多区市民どんたく隊への参加 0人 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)	B	博多)企画振興課
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	校区における男女共同参画の推進	・校区が主体的に活動するため、情報交換や交流の場を支援する。 ・校区活動の活性化を図るため、研修や実践活動の機会を提供する。	① 役員会(10回)、定例会(10回)開催 ② 研修実施 テーマ:「身近な男女共同参画」 日時:令和4年11月28日(月)18:00～ 講師:鷹鳥屋神社 宮司 矢野 大和氏 対象:中央区内 各校区・地区の男女共同参画推進委員等 参加者:25名 ③ 研修等参加 「日本女性会議2022 in 鳥取くらし」 開催日:令和4年10月28～30日 参加者:1名 ④ 区事業への協力参加 中央区どんたく隊パレード 市二役等歓迎セレモニー (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)	① 役員会(9回)、定例会(9回)開催 ② 研修実施 テーマ:「女性活躍推進と多文化共生について」 日時:令和4年3月15日(火)13:00～ 講師:在福岡米国領事館 領事 ユキ・近藤・シャー氏 対象:中央区内 各校区・地区の男女共同参画推進委員 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止) ③ 研修参加 テーマ「何が違うの?世界でジェンダーギャップ120位の日本!」 日時:令和3年12月5日(日)13:30～ 場所:アマカスホール 主催:「地域で男女共同参画を広げようネットワーク」実行委員会 参加者:9人 ④ 区事業への協力参加 中央区どんたく隊パレード 市二役等歓迎セレモニー (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止)	B	中央)企画振興課
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	校区主体で男女共同参画を推進していく	年度内に学習会・研修会を4回実施する。	① 全体会 年2回実施(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約。 ② 学習会 年4回実施(6月、7月、9月、12月) 「アンコンシャスバイアスへの意識-多様性の鍵」や「わたしたちが考え、実践してきたリーダーシップについて」等、校区の委員が興味を持ちそうなテーマを検討した。また、今後の校区の活動の参考とするため、各校区の実状等に関する意見交換を実施した。 6月は新委員対象の研修会 ③ 役員会 年3回開催	① 全体会 年2回実施(5月、3月) 連絡会の活動内容や方向性について、各校区の意見を集約、うち、5月は書面開催 ② 学習会 年4回実施(7月、8月、9月、12月) 「男性の育児休業について」や「外国人から見た日本との男女共の考え方の違い」等、校区の委員が興味を持ちそうなテーマを検討した。また、今後の校区の活動の参考とするため、各校区の実状等に関する意見交換を実施した。 8月は新委員対象の研修会 ③ 役員会 年2回開催	A	南)企画振興課
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	校区における男女共同参画の推進	・各校区の情報共有及び区役所からの情報提供のため定期的に連絡会が開催できるよう支援する。	1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 (1) 定例会 7回 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供、学習会 (2) 啓発 校区団体活動紹介デジタルサイネージの放映等	1 城南区男女共同参画連絡会の活動支援 (1) 定例会 7回 校区活動報告、情報交換、行政からの情報提供、学習会 (2) 啓発 校区団体活動紹介デジタルサイネージの放映等	B	城南)企画振興課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
				1	3	10							
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	校区男女共同参画推進活動の活性化	コロナ禍においても、できる限り会議や事業を実施し、区男女共同参画連絡会の活動が校区の活動に還元されるよう支援する。	(1)全体会(年6回実施/6回予定) 各校区活動報告、情報交換 (2)委員研修会(年3回実施/3回予定) 全体会(9月、1月、3月)において各校区の情報交換を実施 (3)ブロック別研修会(年4回実施/4回予定) ①Aブロック 映画上映会「あした咲く」 ②Bブロック 講師:三浦 暢久さん(カラフルチェンジラボ代表理事) ③Cブロック 映画上映会「あした咲く」 講師:樋口 綾子(福岡市男女共同参画推進サポーター) ④Dブロック 映画上映会「ベアテの贈りもの」 (4)広報誌「かたらい」発行(年1回実施/1回予定) (5)早良区男女共同参画講演会(年1回実施/1回予定) 講師:山口 香さん(筑波大学教授、元柔道選手、ソウルオリンピック銅メダリスト) 題:変わる勇気、変えるアクション～女性も男性も共に暮らしやすい社会を創る～	(1)全体会(年5回実施/6回予定) 各校区活動報告、情報交換 (2)委員研修会(年1回実施/1回予定) 講師:井上 るみ氏(福岡よかトピア国際交流財団専務理事) (3)ブロック別研修会(年3回実施/4回予定) ①Aブロック 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ②Bブロック 講師:原田 直子さん(女性協同法律事務所所長) ③Cブロック 講師:山口 裕之さん(マザー・アース人権啓発研究所主宰) ④Dブロック 映画上映会「マダム・イン・ニューヨーク」 (4)広報誌「かたらい」発行(年1回実施/1回予定) (5)早良区男女共同参画講演会(実施なし/1回予定) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止	A	早良)地域支援課
1	2	4	○	1	3	10	区男女共同参画連絡会の活動支援	男女共同参画社会の実現に向けての取り組みを推進すること	意識啓発や知識習得のための取り組みを行うとともに、男女共同参画の視点で地域課題の解決に向けて、多様な団体等と連携した取り組みを展開するなど、地域に男女共同参画意識を浸透させていく	1.西区男女共同参画フェスティバル 2月11日に開催。 オープニングには地元の太鼓団体による演奏、その後LGBTQを支援する団体代表による講演会を行った。(出席者:約250名) 2.委員研修会 4回実施(6月、9月、1月3月) 委員自らが講演会等を企画実施。 他校区のとの意見交換や情報交換を行い、校区間の連携を図った。 3.日本女性会議(鳥取県倉吉市)10月28日～30日開催 委員2名が出席し、報告を1月の委員研修会でを行った。 4.広報誌「なぎさ」 委員自ら記事の企画、原稿依頼、編集、発行を行っており、西区男女共同参画をすすめる会の広報を行っている。 令和3年度:B2ポスター版180部、A4チラシ版5,400部発行 令和4年度:A4版チラシを5,400部作成 5.全体会 西区男女共同参画をすすめる会の方針の決定を6月に、令和4年度の事業報告・令和5年度の事業計画を3月に行った。	1.西区男女共同参画フェスティバル2021 ～身近な男女共同参画～ 講師:矢野大和さん 例年、地域の方々へ男女共同参画意識が浸透するために実施しているが、今年度は規模を縮小し、各校区の男女共同参画委員の方々向けに研修を開催した。(参加者数:27人、11月27日開催) 2.委員交流・意見交換会 年4回の実施を予定していたが、いずれも中止。 書面にて研修及びアンケートを実施し、委員の方々へ共有した。 3.日本女性会議(山梨県甲府市)10月22日～24日開催 オンラインにて、記念講演・基調講演のアーカイブ配信を視聴(参加者数:9人、アーカイブ配信視聴日:10月30日) 4.広報誌「なぎさ」 委員自ら記事の企画、原稿依頼、編集、発行を行っており、西区男女共同参画をすすめる会の広報を行っている。 令和2年度:中止 令和3年度:B2ポスター版180部、A4チラシ版5,400部発行 5.全体会 西区男女共同参画をすすめる会の令和3年度の事業報告・令和4年度の事業計画を3月に行った。(参加者数:21人、3月24日開催) 6.啓発物資 ・啓発用マスク(3,000枚作成) ・啓発用クリアファイル(1,500枚作成)	B	西)企画振興課
1	2	4	○				男女共同参画社会づくり講座	男女が互いにその人権を尊重しながら責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するためには何をすべきか、何が必要かなどを考える。	参加者アンケートで「大変参考になった」、「やや参考になった」と回答した人の割合が90%以上。	男女共同参画社会づくり講座 ○ちひろ人権コンサート ※「人権を考えるつどい」参加事業 【日時】9月16日(金) 【内容】ちひろ人権コンサート 【場所】なみきホール 【参加者】225名	※下記のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため全て中止した。 ○映画上映「最強のふたり」※「人権を考えるつどい」参加事業 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、下記の2度にわたり中止。 【日時】9月7日(火)及び2月18日(金) ○講座 【日時】1月28日(金)10～12時 【テーマ】「主婦と主夫、かなで書けば同じ「しゅふ」」 【講師】久留米市男女平等政策審議会委員 日高邦博氏	A	東)生涯学習推進課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
1	2	4	○				市民センターにおける男女共同参画講座・講演会	校区男女共同参画推進活動の活性化	地域住民に対して男女共同参画への理解を浸透させる。	早良区男女共同参画講演会 講師:山口 香さん(筑波大学教授、元柔道選手) 題:変わる勇気、変えるアクション～女性も男性も共に暮らしやすい社会を創る～ 会場:早良市民センター 参加者:200人(うちオンライン視聴4人)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 早良区男女共同参画講演会(実施なし)	A	早良)地域支援課
1	2	4	○				人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」	12月4日から10日までの「人権尊重週間」と位置づけ、福岡市人権尊重行事推進委員会(29機関・団体)が中心になって、「人権が真に尊重され、差別のない住みよい福岡市の実現を目指す取組」を推進すべく実施するもの。	福岡市人権尊重週間行事に関するアンケートにおける「大変満足だった」「まあ満足だった」の割合85.0%	各区において人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」を実施した。 参加者数 1,677人 講演満足度(アンケートにおける「よかった」の割合) 88.9%	各区において人権尊重週間「人権を尊重する市民の集い」を実施した。 参加者数 1,359人 講演満足度(アンケートにおける「よかった」の割合) 85.8%	A	市民)人権啓発センター
1	2	4	○	2	5	31	人権総合講座	市民一人ひとりの人権が真に尊重される社会の実現を目指し、人権意識の高揚を図るため、市民を対象に、日頃から人権問題を自分自身の問題として捉え、人権に関わる問題を総合的に学ぶことができる機会を提供するもの。	「よく理解できた」「だいたい理解できた」人の割合を90%以上にする。	人権意識の高揚を図るための講座を実施した。 参加者数 延べ228人(全6回) 受講者の理解度 91.6% 7/16(土) 講師:松村 元樹氏 分野:同和問題 8/27(土) 講師:寮 美千子氏 分野:外国人 9/17(土) 講師:濱島 淑恵氏 分野:子ども 1/28(土) 講師:東 俊裕氏 分野:障がい者 講演後、障がい当事者とその家族と東先生とのパネルディスカッション 2/18(土) 講師:濱田 貴士氏 分野:性的マイノリティ 3/18(土) 講師:中嶋 正信氏 分野:高齢者	人権意識の高揚を図るための講座を実施した。 参加者数 延べ191人(全4回) 受講者の理解度 89.5% 7/17(土) 講師:坂本 義喜氏 分野:同和問題 1/29(土) 講師:ROSE(ローズ)氏 分野:性的マイノリティ 2/19(土) 講師:徐 麻弥(ソ マミ)氏 分野:外国人 3/12(土) 講師:小川 秀幸氏 分野:ハンセン病、感染症	A	市民)人権啓発センター
1	2	5	○	1	3	11	公民館における男女共同参画学習講座	公民館主催事業による男女共同参画の推進	公民館主催事業において男女共同参画学習講座を実施し、地域における男女共同参画の浸透を図る。	公民館数 38館 回数 122回 人数 2,784人	公民館数 36館 回数 94回 人数 2,044人	B	市民)公民館支援課
1	2	6	○				男女共同参画社会に関する市民意識調査	男女共同参画の現状を把握し、今後の男女共同参画推進のための施策を実施する上での基礎資料とする。	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討し、実施する。	男女共同参画に係る施策を展開する上での基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ※次回は令和5年度予定	(参考)平成30年度調査 ※「市政に関する意識調査」内で実施 (調査期間:平成30年6月15日～6月30日) ・調査対象者数 4,500人 ・回収率 51.1% ・設問数(男女共同参画社会について) 20問	—	市民)男女共同参画課
1	2	6	○				女性活躍推進に関する事業所等実態調査	市内事業所における従業員の就業実態や女性の活躍推進などに係る課題を把握し、今後の女性活躍推進のための施策を実施する上での基礎資料とする。	施策に反映できる、より有効な調査項目を検討し、実施する。	女性活躍推進に係る施策を展開する上での基礎資料とするため5年ごとに調査を実施。 ※次回は令和6年度予定	(参考)令和元年度調査 (調査期間:令和元年11月8日～11月30日) ・調査対象 事業所調査 2,000事業所 正社員調査 正社員 男女別・管理職非管理職別 各2,000人(合計8,000人) 非正規雇用労働者調査 2,000人 ・回収率 事業所 18.8%、正社員 14.7%、非正規雇用労働者 12.6%	—	市民)女性活躍推進課
1	2	7	○	1	3	10 11 12	出前講座	男女共同参画に関する広報と情報提供	受講者満足度100%	派遣実績 6件 参加者計125人(女性98人、男性27人) 満足度 98.9%	派遣実績 5件 参加者計74人 満足度 93.4% ※うち1件オンラインにて実施	A	市民)男女共同参画課

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲	事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績		自己評価	事業実施担当課
									令和3年度事業実績	令和3年度事業実績		
1	2	7	○		市政だよりによる広報	男女共同参画の必要性を広く市民が共感できるよう、様々な情報提供を行う。	効果的なタイミングに広報を行うように工夫し、年2回以上の掲載を目指す。	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 計2回掲載 ・つながりサポート相談室の周知(5/15号) ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」の周知(11/1号)	男女共同参画推進にかかる市政だよりの広報 計2回掲載 ・市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」の周知(11/1号) ・つながりサポート相談室の周知(11/16号)	A	市民)男女共同参画課	
1	2	7	○		市のホームページでの情報提供	男女共同参画の必要性を広く市民が共感できるよう、様々な情報提供を行う。	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	本市の男女共同参画及び女性活躍推進にかかる情報に関して、福岡市ホームページのほか、独自の男女共同参画ホームページや見える化サイトにて様々な情報を発信している。 (主な掲載内容) ・男女共同参画基本計画(第4次) ・男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」各校区の取組み ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画推進協議会 ・社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業)の申請受付の周知 ・企業向けセミナーや講演会の周知 ・関係法令、助成金等	本市の男女共同参画及び女性活躍推進にかかる情報に関して、福岡市ホームページのほか、独自の男女共同参画ホームページや見える化サイトにて様々な情報を発信している。 (主な掲載内容) ・男女共同参画基本計画(第3次) ・男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」各校区の取組み ・男女共同参画審議会 ・男女共同参画推進協議会 ・社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業)の申請受付の周知 ・企業向けセミナーや講演会の周知 ・関係法令、助成金等	B	市民)男女共同参画課	
1	2	7	○		市のホームページでの情報提供	男女共同参画の必要性が広く市民が共感できるよう、様々な情報提供を行う。	関連部署とリンクさせるなど利便性を向上させ、市民が見やすく、分かり易いホームページとなるよう工夫する。	本市の男女共同参画及び女性活躍推進にかかる情報に関して、福岡市ホームページのほか、独自の男女共同参画ホームページや見える化サイトにて様々な情報を発信している。 (主な掲載内容) ・社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業)の申請受付の周知 ・企業向けセミナーや講演会の周知 ・男性の育児休業取得促進に向けた啓発 ・関係法令、助成金等	本市の男女共同参画及び女性活躍推進にかかる情報に関して、福岡市ホームページのほか、独自の男女共同参画ホームページや見える化サイトにて様々な情報を発信している。 (主な掲載内容) ・社会貢献優良企業優遇制度(次世代育成・男女共同参画支援事業)の申請受付の周知 ・企業向けセミナーや講演会の周知 ・男性の育児休業取得促進に向けた啓発(新規) ・関係法令、助成金等	A	市民)女性活躍推進課	
1	2	7	○		市のホームページでの情報提供	アミカスの施設案内や、アミカス事業の情報を発信する。	ホームページのアクセス件数500,000件を目指す。	・ホームページ アクセス件数 434,961件 ・メールマガジン 登録者数 501件 ・フェイスブックによる広報	・ホームページ アクセス件数 399,141件 ・メールマガジン 登録者数 450件 ・フェイスブックによる広報	A	市民)事業推進課	
1	2	7	○		情報提供事業	地域等における男女共同参画を推進する。	依頼に対し適切な人材を紹介する。	・地域等で男女共同参画を推進し、女性の参画を促進するため、アミカスの人材情報を提供。 2件 2人紹介	・地域等で男女共同参画を推進し、女性の参画を促進するため、アミカスの人材情報を提供。 4件 4人紹介	A	市民)事業推進課	
1	2	7	○		広報啓発紙の発行	男女共同参画に関する広報・啓発を行う。	男女共同参画の啓発につながる紙面づくりを目指す。	アミカスボイスの発行 年2回 4,000部	アミカスボイスの発行 年2回 4,000部	A	市民)事業推進課	
1	2	7	○		アミカス図書室による情報の提供	男女共同参画やジェンダー(社会的性別)に関する基礎文献資料の充実を図る。	固定的性別役割分担意識が解消され、誰もが個性と能力を発揮できる社会を実現するための情報を提供する。	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数:46,929冊 貸出数:47,813冊 レファレンス受付(女性問題関連)0件 アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:年4回 発行部数:70部(4月)、85部(7月)、97部(10月)、40部(1月) 配布先:アミカス館内	男女共同参画や女性問題に関する図書・資料等を収集し、貸出・閲覧・レファレンスを行った。 蔵書数:46,692冊 貸出数:46,313冊 レファレンス受付(女性問題関連)1件 アミカス図書室情報案内の発行 発行回数:年4回 発行部数:30部(4月)、80部(7月)、105部(10月)、40部(1月) 配布先:アミカス館内	A	市民)事業推進課	

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲		事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課	
1	2	7	○			ココロンセンターだより	センターの事業紹介をはじめ、人権啓発情報を提供し、市民の人権意識の向上を図る。	センターの季刊紙として定着しており、今後ともセンターの事業紹介や様々な人権啓発の情報発信ができる魅力ある紙面づくりを図り、市民啓発を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 6月、9月、12月、3月の年4回発行 発行部数各4,000部 ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、人権啓発推進指導員のコラム、ココロンセミナー紹介、ココロンキャンパス等実施事業の特集記事や人権啓発地域推進組織の取組紹介等を行った。 配布先: 公民館、市民センターなど、市の公共施設 	<ul style="list-style-type: none"> 6月、9月、12月、3月の年4回発行 発行部数各4,000部 ハートフルフェスタや人権尊重週間行事、人権啓発推進指導員のコラム、ココロンセミナー紹介、ココロンキャンパス等実施事業の特集記事や人権啓発地域推進組織の取組紹介等を行った。 新型コロナウイルス感染症に関する啓発を行った。 配布先: 公民館、市民センターなど、市の公共施設 	A	市民)人権啓発センター	
1	2	7	○	1	2	9	ラジオ番組「こころのオルゴール」	マスメディアを活用した市民の人権意識の啓発	わかりやすい番組内容、より興味をひく話題を提供することにより、市民の人権意識の向上をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> 女性問題を含めた様々な人権問題をテーマにしたシナリオを全15本制作し、民放ラジオ1局で30回放送した。また、シナリオをテロップ化した動画を制作し、Youtube及びホームページに掲載した。(女性に関する問題をテーマとしたシナリオ) 1本制作 2回放送 	<ul style="list-style-type: none"> 女性問題を含めた様々な人権問題をテーマにしたシナリオを全20本制作し、民放ラジオ1局で40回放送した。また、シナリオをテロップ化した動画を制作し、Youtube及びホームページに掲載した。(女性に関する問題をテーマとしたシナリオ) 2本制作 4回放送 	A	市民)人権啓発センター
1	2	7	○			福岡市学習情報提供システム「まなびアイふくおか」での情報提供	ホームページ「まなびアイふくおか」、情報誌「まなびアイふくおか」、市政だより等を通じて、福岡都市圏の様々な機関・団体が開催する男女共同参画に関する事業を紹介する。	役立つ情報の提供を目指す。	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報、情報誌「まなびアイふくおか」及び市政だより等のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 <ul style="list-style-type: none"> 1 ホームページアクセス数 1,151,523件 2 情報誌 <ul style="list-style-type: none"> 発行回数: 年2回 発行部数: 年2,010部 配布先: 情報プラザ、区役所、市民センター、総合図書館等 	「福岡市学習情報提供システム まなびアイふくおか(ホームページ)」の講座・イベント情報、情報誌「まなびアイふくおか」及び市政だより等のなかで、男女共同参画に関する事業を紹介した。 <ul style="list-style-type: none"> 1 ホームページアクセス数 920,945件 2 情報誌 <ul style="list-style-type: none"> 発行回数: 年2回 発行部数: 年2,010部 配布先: 情報プラザ、区役所、市民センター、総合図書館等 	A	市民)生涯学習課	
1	2	7	○			行政広報物における表現のガイドラインの周知	行政広報物の作成において、固定観念にとらわれない、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現を促す。	市職員が必要に応じて閲覧できるよう全庁OA等を活用し周知を図っていく。	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載するとともに、年度当初に通知し、周知している。A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作)(令和2年度改訂) <p>さらに、「事例集:男女共同参画の視点に立った行政広報物における表現のガイドライン」を公文通知に掲載し、周知している。</p>	「行政広報物における表現のガイドライン」を全庁OA(市職員向け)に掲載するとともに、年度当初に通知し、周知している。A4版(全7項 ※福岡県と北九州市と平成12年共同製作)(令和2年度改訂)	B	市民)男女共同参画課	
1	2	7	○			ユニバーサル都市・福岡の推進	年齢、性別や国籍、障がいの有無等にかかわらず、誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」の実現。	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの概念の理解度: 70%(令和6年度) ユニバーサルデザインの取組みへの評価: 65%(令和6年度) 「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークの認知度: 65%(令和6年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 4コマ漫画(4種類・英語訳付き)による普及啓発(新聞、webサイト、壁面広告、CM、webバナー) ユニバーサル都市・福岡PRサポーターによる普及啓発(Youtube、Instagram、webバナー) Instagram又はツイッターによる「#ユニバーサル都市福岡」投稿キャンペーン実施(投稿者数91、投稿数172、写真枚数410) パネル展示イベント実施(令和4年11月29・30日) ラジオ企画(令和5年2月の火曜日 全4回) 福岡版ユニバーサルマナー検定の実施 <ul style="list-style-type: none"> 実施期間: 令和4年8月～11月(計3回) 受講者数: 82人 「ユニバーサル都市・福岡」公式Instagramの活用 児童向け副読本の改定の検討、配布 外国人向けのトイレマナーを記載したロゴマーク入りの啓発ステッカー及び窓ロステッカー等の掲出 <ul style="list-style-type: none"> 掲出箇所数: 7,363枚(配布枚数・累計) 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサル都市・福岡PRサポーターによる普及啓発(Youtube、ジオターゲット広告、読売新聞、西鉄バス車内広告、シニア向けフリーペーパー「ぐらんざ」、メールマガジン「リトルマ」等) 企業・団体向けの普及啓発(リーフレットの配布、Yahoo!JAPANのトップページへのバナー広告配信) 福岡版ユニバーサルマナー検定の実施 <ul style="list-style-type: none"> 実施期間: 令和3年8月～11月(計4回) 受講者数: 230人 「ユニバーサル都市・福岡」公式Instagramの活用 <ul style="list-style-type: none"> 福岡市の取組みの紹介(計7回の投稿)や、「写真展」として、外国人、障がい者やLGBTなど、毎月1人(組)ずつ、様々な立場の方4人(組)から見える「福岡」の写真を投稿してもらう企画を開催(各9～10回の投稿)。 外国人向けのトイレマナーを記載したロゴマーク入りの啓発ステッカー及び窓ロステッカー等の掲出 <ul style="list-style-type: none"> 掲出箇所数: 6,840枚(配布枚数・累計) 小学4年生向け副読本の作成・配布 	B	総企)企画調整部	
1	2	7	○			「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」の周知	市が発行する印刷物をユニバーサルデザインに配慮されたものにする。	「ユニバーサルデザインに配慮した印刷物作成の手引き」を活用した広報研修の理解度100%を目指す。	全庁OAを活用した職員向け広報研修を実施。理解度は91.6%であった。全庁OAに手引きを掲載し、庁内に周知した。	全庁OAを活用した職員向け広報研修を実施。理解度は95.3%であった。全庁OAに手引きを掲載し、庁内に周知した。	A	市長)広報課	

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲	事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
1	2	8	○		女性のためのつながりサポート事業	コロナ下で困難や不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復することができるよう、アウトリーチ型の支援など、NPO等の知見を活用したきめ細かい支援を行う。	利用しやすい相談窓口となるよう、幅広い広報に努める。広報カード・ポスター配布先800箇所	<p>コロナ下で困難や不安を抱える女性に対する相談機会の提供などの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口設置(対面・電話・オンライン) →相談者数516人 アウトリーチ、同行支援 ・生理用品等の提供 <p>つながりサポート相談室の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> 市政だより5/15号 Facebook、LINE、Twitter、Yahoo!くらし、SmartNews広告 地下鉄構内放送 ・アミカスメルマガ 福岡未来創造プラットフォーム加盟大学への広報 広報カード・ポスター配布先 →全716箇所 (市立小中高校、大学、公民館、イオン大型店舗 他) 	<p>コロナ下で困難や不安を抱える女性に対する相談機会や居場所の提供などの支援(R3.10.22開設)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談窓口設置(対面・電話・オンライン) →相談者数250人 アウトリーチ、同行支援 ・生理用品等の提供 <p>居場所の提供(対面・オンライン)</p> <p>つながりサポート相談室の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> 市政だより11/16号 ・Facebook、Instagram広告 地下鉄構内放送 ・アミカスメルマガ 広報カード・ポスター配布先 →全728箇所 (市立小中高校、大学、公民館、イオン大型店舗 他) 広報用マスクの配布(アミカスフェスタ・防災フェア 他) 	B	市民) 男女共同参画課
1	2	8	○		市民グループ活動支援事業			基本目標1 施策の方向2 具体的施策3に記載			
1	2	8	○		人権啓発センター利用登録団体との共働事業	利用登録団体との共働により、効果的な市民啓発を行う。	「市民・行政共働型」啓発をさらに効果的に推進する。	<p>地域や関係団体・機関の代表で構成する「ハートフルフェスタ福岡実行委員会」(主催)による人権啓発フェスティバルイベントを、感染症対策を徹底したうえで、2会場で開催した。</p> <p>西鉄ホールでは、人権講演会及び映画、ミニトークショーを開催し、一部インターネットを通じてライブ及び録画配信を行った。</p> <p>ゼファ会場では、人権団体活動紹介(展示)やワークショップ、体験ブースなどの多くの市民が気軽に楽しく人権に触れることができるイベントを行った。</p> <p>また、前日は人権団体主催の講演会を行った。(3団体) 参加者数:4,584人(うち動画視聴回数約50回) 参加者アンケート:「人権問題に関心を持ったと回答」 西鉄ホール:94.8%、ゼファ:94.9%</p>	<p>地域や関係団体・機関の代表で構成する「ハートフルフェスタ福岡実行委員会」(主催)による人権啓発フェスティバルイベントを、感染症対策を徹底したうえで、2会場で開催した。</p> <p>西鉄ホールでは、人権講演会及び映画、パネルディスカッションを開催し、一部インターネットを通じてライブ配信を行った。</p> <p>ゼファ会場では、人権団体活動紹介(展示)やワークショップ、体験ブースなどの多くの市民が気軽に楽しく人権に触れることができるイベントを行った。</p> <p>なお、ステージイベントや障がい者施設の物販等については感染拡大予防のため中止した。</p> <p>また、前日は人権団体主催の講演会を行った。(3団体) 参加者数:約4,900人(うち動画視聴回数約100回) 参加者アンケート:「人権問題に関心を持ったと回答」 西鉄ホール:95.7%、ゼファ:93.7%</p>	A	市民) 人権啓発センター
1	2	9	○		ラジオ番組「こころのオルゴール」			基本目標1 施策の方向2 具体的施策7に記載			
1	3	10	○		男女協サミット	市内全域の男女共同参画協議会会長等が一堂に会し、地域における男女共同参画の様々な課題について、講演、ワークショップ、意見交換などを通じて情報共有し、地域における男女共同参画のさらなる推進を図る。	男女共同参画の推進に資する内容での実施、校区からの参加率又は満足度100%	<p>第1部 校区の活動事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央区当仁校区男女共同参画推進委員会 西区西都校区男女共同参画部会 <p>第2部 講演:「私らしく働くということ」</p> <p>講師:九州旅客鉄道株式会社 上席執行役員総合企画本部 副本部長 兼 経営企画部長 赤木 由美氏</p> <p>参加者:119人(女性104人、男性15人) 参加者満足度:事例発表 97.4% 講演 94.7%</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面開催を中止し、以下の資料を各校区へ配付。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1部「校区の活動事例紹介」のリーフレット 第2部「講演『すべての女性が輝く令和の社会へ』(講師 内閣府男女共同参画局長 林伴子氏)」の動画データ <p>資料・DVDの配布率100%</p>	A	市民) 男女共同参画課
1	3	10	○		出前講座			基本目標1 施策の方向2 具体的施策7に記載			

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲			事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績	令和3年度事業実績	自己評価	事業実施担当課
1	3	10	○	1	3	11	「みんなで参画ウィーク」の広報・周知	様々な地域団体の枠を超えて校区全体で男女共同参画について考えるきっかけとなるように、週間の周知とともに、地域が主体的に行う男女共同参画推進の取組を支援する。	「みんなで参画ウィーク」の取組みが全校区で実施される。また、のぼり旗設置のみの校区を除いた実施校区が130校区を超える。	福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 (校区の活動支援、市政だより・ホームページへの掲載、地下鉄構内での放送、ポスター、チラシの配布等) ・取組みを実施した校区数 140/149校区 ・のぼり旗設置のみを除いた校区数 121/149校区 ※分母は「みんなで参画ウィーク」の実施アンケート回答数(複数回答) ・のぼり旗設置 105校区 ・パネル、ポスター掲示 62校区 ・講座・研修会実施 67校区	福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」及び「シンボルマーク」の広報・周知 (校区の活動支援、市政だより・ホームページへの掲載、地下鉄構内での放送、ポスター、チラシの配布等) ・取組みを実施した校区数 121/144校区 ・のぼり旗設置のみを除いた校区数 113/144校区 ※分母は「みんなで参画ウィーク」の実施アンケート回答数(複数回答) ・のぼり旗設置 92校区 ・パネル、ポスター掲示 46校区 ・講座・研修会実施 75校区	A	市民)男女共同参画課
1	3	10	○				アミカス地域支援事業	基本目標1 施策の方向2 具体的施策3に記載					
1	3	10	○				七区男女共同参画協議会活動支援	各区男女共同参画連絡会の交流及び情報交換により、区及び校区の男女共同参画の推進を図る。	代表者会議4回について、確実に実施できるよう支援する。	・代表者会議(年4回)の開催 ・男女協サミットの開催(R5.2.4) ・校区における男女共同参画をテーマとした取組みの実施状況調査の実施	・代表者会議(年4回)の開催 ※内1回は書面開催 ・男女協サミットの開催(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により対面開催の中止、資料配付のみ) ・校区男女共同参画研修会実施状況調査の実施 ・男女共同参画地域活動ハンドブックの改訂(令和4年3月)	A	市民)男女共同参画課
1	3	10	○				七区男女共同参画協議会による男女共同参画研修実施状況調査	校区の男女共同参画に関する研修会等の実施状況を把握し、結果を各校区と共有することにより、今後の研修会等の企画・実施の参考として活用する。	校区における実施率100%が達成できるよう支援する。	実施率 78.5%	実施率 68.5%	B	市民)男女共同参画課
1	3	10	○	5	1	51	男女共同参画推進担当者研修	男女共同参画についての理解を深める。	新たに男女共同参画推進業務を担当する職員を対象とし、早期に研修を実施し、満足度100%を目指す。	男女共同参画推進担当者研修 講師： 市民局男女共同参画課、事業推進課 対象： 各区総務部職員(企画振興課、地域支援課) 市民局男女共同参画部職員(男女共同参画課、事業推進課) 参加者数:11人 満足度:100%	男女共同参画推進担当者研修 講師： 市民局男女共同参画課、事業推進課 対象： 各区総務部職員(企画振興課、地域支援課) 市民局男女共同参画部職員(男女共同参画課、事業推進課) 参加者数:11人	A	市民)男女共同参画課
1	3	10	○				公民館長・公民館主事の研修	基本目標1 施策の方向1 具体的施策2に記載					
1	3	10	○				校区における主体的な男女共同参画推進活動への支援(各区)	基本目標1 施策の方向2 具体的施策4に記載					
1	3	10	○				区男女共同参画連絡会の活動支援(各区)	基本目標1 施策の方向2 具体的施策4に記載					
1	3	11	○				「みんなで参画ウィーク」の広報・周知	基本目標1 施策の方向3 具体的施策10に記載					
1	3	11	○				アミカス地域支援事業	基本目標1 施策の方向2 具体的施策3に記載					
1	3	11	○				出前講座	基本目標1 施策の方向2 具体的施策7に記載					
1	3	11	○				公民館長・公民館主事の研修	基本目標1 施策の方向1 具体的施策2に記載					

基本目標1 あらゆる年代・性別で男女共同参画意識が浸透した社会

基本目標別 評価集計	A	B	C	D
	53	37	0	0

基本目標	施策の方向	具体的施策	重点評価	再掲	事業名	事業目的	事業目標	令和4年度事業実績		令和3年度事業実績		自己評価	事業実施担当課
1	3	11	○		公民館における男女共同参画講座			基本目標1 施策の方向2 具体的施策5に記載					
1	3	11	○	3	1	37	共創自治協議会事業	自治協議会共創補助金の交付を通じて、地域における男女共同参画の推進を図る。	各校区の自治協議会において、男女共同参画を推進する活動が実施されるよう支援する。	自治協議会共創補助金の交付を通じて、自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取組みを支援した。 共創補助金交付団体数 150/151団体	自治協議会共創補助金の交付を通じて、自治協議会が行う男女共同参画の推進に関する取組みを支援した。 共創補助金交付団体数 151/151団体	A	市民)コミュニティ推進課
1	4	12					女性の視点を活かした防災事業	防災に関する政策・方針決定の場における女性の参画促進、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立。	各種講座について、理解度100%を目指す。	○防災をテーマに、多様性について考える「みんなにやさしい防災研修」の実施(地域向け) 実施校区数:12校区 参加者:計315人 (女性203人、男性112人) 理解度99.2%、満足度99.3% ○「女性の視点を活かした防災ミニブック」を活用した男女共同参画講座(子どもプラザ等) 実施回数:5回 (子どもプラザ4回、地域1回) 理解度:98.1% ○「女性の視点を活かした防災ミニブック」の配布 配布先:情報プラザ、各区情報コーナー、子どもプラザ 等 ○「女性の視点を活かした防災ミニブック」の改訂(R5.3) 国の避難情報見直しの反映、液体ミルクの記載追加等	○防災をテーマに、多様性について考える「みんなにやさしい防災研修」の実施 実施先:10社 理解度:100% ○「女性の視点を活かした防災ミニブック」を活用した男女共同参画講座(子どもプラザ等) 実施回数:5回 (子どもプラザ3回、アミカスフェスタ1回、地域1回) 理解度:96.3% ○「女性の視点を活かした防災ミニブック」の配布 配布先:情報プラザ、各区情報コーナー、子どもプラザ 等	A	市民)男女共同参画課
1	4	12					出前講座	基本目標1 施策の方向2 具体的施策7に記載					
1	4	12					博多あん(安全)・あん(安心)塾	地域の防災力向上を図るため、地域や企業における防災リーダーを養成	毎年80人前後の防災リーダーを養成する。	博多あん・あん塾修了者:69人(男:52人、女:17人) (修了者のうち、防災士資格取得者:61人)	博多あん・あん塾修了者:86人(男:51人、女:35人) (修了者のうち、防災士資格取得者:80人)	B	市民)地域防災課
1	4	12					アミカス地域支援事業	基本目標1 施策の方向2 具体的施策3に記載					
1	4	12					避難所運営ワークショップ	大規模災害時の避難所運営に地域住民が主体的に取り組む体制づくりを支援	令和6年度までに50校区で実施済みとする。 (令和元年度時点で22校区実施済み)	実施:5件	実施:2件 新型コロナウイルスの影響による中止:4件	B	市民)地域防災課
1	5	13					海外の女性情報の収集及び提供	海外の情報を収集し、情報を提供することで、男女共同参画社会の実現を目指す。	蔵書数55種類にする。	○英文資料を収集・提供 蔵書数: 51種類	○英文資料を収集・提供 蔵書数: 51種類	A	市民)事業推進課
1	5	13					男女共同参画講座(諸外国の状況をテーマとするもの)	男女共同参画に関する国際理解の推進をする。	男女平等意識の浸透を図る。満足度90%以上を目指す。	アミカス△共感ゼミ ・映画『RBG 最強の85才』上映会とアメリカ領事トークショー 定員:200人 参加者:209人(女性176人、男性33人) 満足度:94%	○アミカス△共感ゼミ ・ティラー首席領事が選ぶ女性アーティスト「キャロル・キング」 定員:30人 参加者:12人 満足度:100% ○アミカス△共感ゼミ ・映画『女を修理する男』上映会 定員:50人 参加者:48人 満足度:100%	A	市民)事業推進課
1	5	13					地域における外国人住民との交流支援事業	地域と外国人住民との交流を通じ、互いの文化の違いなどを理解し、多文化共生の実現を図る。	小学校区単位での交流を行う。	○地域と外国人住民との交流を行い、相互理解の促進を図っている。 ・市または福岡よかトピア国際交流財団が支援した交流件数 4校区	○地域と外国人住民との交流を行い、相互理解の促進を図っている。 ・市または福岡よかトピア国際交流財団が支援した交流件数 6校区	A	総企)国際政策課